



図書だより6月号

姫路東高等学校
図書館
令和4. 6. 1

第一回姫路城学で野里に行ってきました！

NPO 法人の瀬澤義和さんと芥田博司さんが目を輝かせて話してくださったことをお伝えします。まずは瀬澤さんのお話です。我らが東高校は姫路城の中にあります。「横」や「近く」ではなくて世界遺産に登録されている「バッファゾーン」の中にあります。校舎を飛び出して城下町を歩けば、敵の侵攻を防ぐ「のこぎり横丁」や「あてまげ」が古く姫路の町の人の営みを思い浮かばせてくれます。芥田さんのご先祖が一生懸命に鋳物を作られる姿。姫路を愛し、守ろうと決めた者たちの勇ましい姿。少しばかりマスクを外せば、新緑を吹き抜けた豊かな香りが心を癒します。決して昔の人に会うことはできないけれど、今日も姫路城はこの町を見守ってくれている。そのような気がしたのは、瀬澤さんや芥田さんのような方々が、町家の保存や地域での活動を通じて世界遺産姫路城を守っていらっしゃるからだと思いました。

芥田さんからは、子孫ならではのご自身の経験をふまえて400年間続いてきた芥田家の歴史をお話していただきました。また実際に、当時高級だった鉄を使った鋳物の鍋を触らせていただきました。鍋にしてはとても軽く持つことができ、流行したそうです。細かい柄や鋳物の型の影響と思われる小さな傷まで近くで見ることができ歴史そのものに触れることで当時の生活なども感じました。姫路城にとって野里がいかに重要な場所なのかを知ることで、芥田さんや瀬澤さんをはじめとする、姫路城を守って下さっている多くの方々の熱い思いが伝わってきました。



芥田家にて

芥田さんには、今の世界情勢もふまえながら歴史をつなげていくことの大切さも教えていただきました。瀬澤さんはこのコロナ禍について「何百年に一度の状況を見ている」と仰いました。それは、今の私たちがいるのは何百年か前の人々がこのような危機を必死に乗り越えたからだと思います。この言葉は、千年先の人の暮らしのために私たちに明日を生きる力をくれるように思います。

(文：水谷さん・内田さん、写真：坂井さん)



あてまげ

「参加者の感想」

- ・私が全く知らなかった野里の鋳物のことを教えていただいて姫路にも面白いことがたくさん詰まっているんだなと思いました。(山田さん)
- ・野里は姫路の中でも大事な位置にあったということがわかりました。この地域にマンションが建てられてしまうと世界遺産の認定が取り消されると知り、私たちもこの町の景観の保護に努めていきたいと思いました。(大黒さん)

6月の休館日

2022年06月						
日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	1	2	3	4 休館日
5 休館日	6	7	8	9 休館日	10 休館日	11 休館日
12 休館日	13	14	15	16	17	18 休館日
19 休館日	20	21	22	23	24	25 休館日
26 休館日	27	28	29	30	・	・
・	・	・	・	・	・	・

開館：昼休み・放課後（17時 まで）



Best 5!

クラス対抗貸出数ランキング

1位	1年1組（17冊）
2位	職員組（9冊）
3位	2年2組（8冊）
4位	1年3組（6冊）
5位	2年5組（3冊）

（4月8日～5月24日）